

■令和4年度第2回会議の議事概要

日 時：令和4年10月19日（水）午前10時00分～12時15分

場 所：泉大津市役所 職員会館3階

出 席：車谷委員、木野委員、井上委員、岡崎委員、富山委員、祐仙委員、楠本委員

公開の有無：公開（一部非公開）

傍 聴 者：なし

議 題

1. 泉大津市教育施設再編計画（案）について（非公開）
2. 泉大津市生涯学習推進計画の見直しについて

報 告

- ① 学校体育施設の利用状況と費用負担のあり方について（非公開）
- ② 仲よし学級について
- ③ 大学連携事業について
- ④ 近畿社会教育研究大会（奈良大会）について

その他

- ① 市制80周年記念事業健康スポーツ事業 2022 いずみおおつスポーツフェスティバル（第76回市民体育祭）開催について

議事概要

議題

1. 泉大津市教育施設再編計画（案）について（非公開）
 - ・事務局より泉大津市教育施設再編計画（案）について説明した後に質疑、意見交換をおこなった。
2. 泉大津市生涯学習推進計画の見直しについて
 - ・事務局より泉大津市生涯学習推進計画の見直しについて説明した後、重点的に取り組む事業について、質疑、意見交換をおこなった。

《主な意見等の内容》

井上委員：地域における学びをいろんな形で確保していくしかない。重点12について、インターネット、デジタルによる学びは進んできているので、今考えられていることは網羅できている。一方でデジタル、インターネットによる弊害にも注意が必要である。便利になった分、自分が何かしなければいけないことをできなくなってきている子どもも増えてきている。便利な部分をうまく活用していくこととそれがなくても学んでいく力を養成していくことは教育委員会として

推進していくべきだと考える。

岡崎委員：先ほどの議題1で議論となった祐仙委員の市民の場へのアプローチというのは、重点13ブンカミーティングがまさにそれにあたるので、これを充実させていくことと、（仮称）生涯学習センターの計画を絡めていくことによって相乗効果があるのかなと感じたので、ぜひ進めていただきたい。

重点15まちぐるみ図書館とあるが、これもさきほどの再編計画の中で図書室の地域開放事業が出てきている。せっかくまちぐるみ図書館という名前で考えるのであれば、運用面でも小学校、中学校の図書館を市民に開放することはできないか。一元的に管理することができればどの学校でも借りる、返すことができるれば市民の利便性があがるのでは。

統括監：システムを統合し、図書館職員が学校に入って整備を進めているところである。今後、図書館職員が学校図書館開放に入って一部のサービスを進めていくことも考えている。

まちぐるみ図書館については、学校の図書室開放だけではなくて、民間の自治会、マンション、個人宅で本を貸し出してもらうなど行ってもらっている。市全体で本を読める環境を整えるため、まずは一つの場に集まって意見交換してもらうことを考えている。

岡崎委員：ブンカミーティングのようなアプローチは、ボトムアップという形で市民の意見を回収していけるので、いい方向性ではないか。

富山委員：重点14の総合型地域スポーツクラブ育成、作ることが目的ではなく作っているいろんなことを解決していこうという意味でいい。文言としては、地域課題の解決に向けてという表現がどこかにあってもいいかなと。

あと学校運動部活動の地域移行ということに焦点を当てて表現することもあるし、学校運動部活動の地域移行だけでなくレクリエーション部活も含めてということで理解すると地域運動部活動の推進という表現もいいのかなと。

楠本委員：デジタルアーカイブ事業のところで、可能であればオープンデータにしてはどうか。大阪市立中央図書館では、もともと出典は大阪市というライセンスで行っていたが、今はパブリックドメインで行っている。著作権をフリーにすることで図書館の作業も少なくなったと聞いている。パブリックドメインにすることで泉大津市のPRにもつながるのでは。

祐仙委員：ブンカミーティングについて、文化祭実行委員会の会長も参加しているが、若い人も多く参加しているのでいいと聞いている。

まちぐるみ図書館について、あすとホールでも旧図書館の使わなくなった本をまちぐるみ図書館のシールを貼ってたくさん置いている。先ほどの話であった個人宅でも本箱を作って置かれているところもある。ただどこにあるのか知らない人がほとんどなので、まちぐるみ図書館についてもっと周知されて、活用されればいいなと思うので期待する。

木野委員：重点１４、総合型地域スポーツクラブの現状について報告する。５年目の節目で子どもの教室は盛況だが、大人の教室は人数が少ないので課題。助成金も切れるので自主運営するためには、お金が必要なのでミニバス、チア、ハンドなど新規教室を増やして会員数を増やすのと市の事業をしっかりとやっていく。今年度は放課後子ども教室が年２回、システム予約変更に伴う管理運営業務もオズスポで行っている。その中には校庭開放事業もあり年間２回行っているが、だれもがスポーツに親しめるということでやっているの、少なくとも各小学校に年１回行えるよう委託を受けたい。自主運営するための資金をどう捻出するかが一番の課題である。

教 育 長：今までの話では全て学校施設、学校教育が関わってくることである。教育委員会から社会教育が進んでいることを啓発しても、学校長の権限が非常に強くて、学校教育活動は基本学校長が決定する。今後の課題であるコミュニティスクールや地域交流ゾーンを進めていくので、社会教育委員の皆さんから学校長に勉強会をしてもらいたいくらい、学校長がそれくらいの認識を持たないと学校経営できないくらいの状況になっている。私自身行政知らなくてこの職について勉強して、学校が関わらないとうまくいかないということを実感している。

生涯学習課、スポーツ青少年課の事務局が社会教育の流れを話しても、学校長がいわとなってしまえばそれで終わってしまうので、学校長がこれからはやっていかなければならないというマストの気持ちに持っていければと思っているので、皆さんのお力をいただきたい。

車谷議長：教育長から熱いご意見、お願いをいただいたので、そういった機会があれば、ご意見を伝えられればと思う。

報告

- ① 学校体育施設の利用状況と費用負担のあり方について（非公開）
 - ・事務局より学校体育施設の利用状況と費用負担のあり方について説明した後、質疑、意見交換をおこなった。

報告

② 仲よし学級について

《議事進行》

- ・事務局より仲よし学級について報告を行う。

《主な意見等の内容》

質問・意見等、特になし。

③ 大学連携事業について

《議事進行》

- ・事務局より大学連携事業について報告したのち、大学連携事業に関わる各委員より補足説明を行った。

《主な意見等の内容》

岡崎委員：サマーキャンプを久々に行うことができたが、春の段階ではコロナの影響があったのでデイキャンプとなった。ただ内容について、バーベキューは盛り上がり充実して行うことができた。環境教育事業なので、自然の中で遊ぶだけでなく自然の素材を使った工作や、お昼ご飯でも備長炭を提供していただき、備長炭とはどういったものなのか子どもたちには少しだけ勉強してもらった。和歌山大学の学生が長期間に関わり、事前、事後学習も行った。また、子どもたちの写真がほしいと例年言われるので、記念写真を配るにあたって、里山だよりを作成した。

井上委員：だんじりコレクションという展示ですが、この時期秋祭りを行っているので、各地区でこれだけやっていることを見て楽しんでいただければ、地域への愛着ということも感じていただければいいのではないかと。

もう1つは、上方という表紙絵を使って和泉、泉州という地域を見ていただく企画展ということで、地域への愛着ということで泉大津市と連携して行うのであればこういったことになるのかなと感じている。この表紙絵も面白いので楽しんでいただければ。

④ 近畿社会教育研究大会（奈良大会）について

《議事進行》

事務局より社会教育事業の予算について報告を行う。

《主な意見等の内容》

楠本委員：分科会では岩出市の事例を聞かせていただいた。その中学校では校長先生がコミュニティスクールに積極的であるとのこと。具体的に何をしているかというところごみ拾いのボランティアや地域の人と中学生と一緒にイベントをしているが、授業の支援までやっていないので今から始めていく感じである。コーディネーターの方がボランティアを引っ張ってきているとのことなので、キーパーソンとなるコーディネーターが重要かなと感じた。

その他

- ① 市制８０周年記念事業健康スポーツ事業 2022 いずみおおつスポーツフェスティバル
（第７６回市民体育祭）開催について

《議事進行》

事務局より市制８０周年記念事業健康スポーツ事業2022いずみおおつスポーツフェスティバル（第７６回市民体育祭）開催について報告を行う。

《主な意見等の内容》

富山委員：スポーツ体験コーナーは案ということなのか。

事務局：今回の募集团体については終了しており、団体についてはこの形で決定となる。

富山委員：体力測定と運動遊びについては、大阪体育大学で行うのでかぶらないように検討する。

終了 １２：１５